

### 電子町内会便り

### 御南学区民体育祭 御南学区体育協会主催

25周年記念の体育祭が9月16日、御南小学校グラウンドで開催されました。ご参加の方々の熱意にも拘らず、成績は今一步のところでした。



応援合戦



玉入れ

めざせホールインワン



町別成績	
1位	久米
2位	田中
3位	今保
4位	西長瀬
5位	田中野田

### 県展

おめでとう

第69回岡山県美術展覧会が開催され下記の方々が入選されました。

前期9月5日～9日・後期9月12～16日に分けて県立美術館・県天神山文化プラザで展示されました。

初入选	書道	8組	白石 誠氏	題名	「こぬ人を」
入選	写真	2組	和氣 茂氏	題名	「旅のはじまり」
入選	写真	9組	遠藤 欽也氏	題名	「霧立つ森のエゾシカ」

### 雑記帳

### 2020東京オリンピックに期待する



第18回の東京オリンピックが開催されたのが1964年。

アジア初のこのオリンピックは、日本の存在を世界に知らしめ先進国の仲間入りを果たす役割を果たすとともに、スポーツ界に大きな財産を残した。

特に、様々な競技が世界に追いつき、追い越すことで日本中に勇気と感動を与えた。

中でも、鬼の大松監督が率いる女子のバレーボールの試合は、日本中がテレビに釘付けになり、手に汗を握り必死に応援をしていた記憶がよみがえる。

このオリンピックが60年を経て再び日本で開催されることになったが、2020年のオリンピックもまた大成功するように期待したい。

この夏のアジア大会での日本人選手の活躍は素晴らしかった。水泳や陸上などの種目の競技力の向上は頼もしい限りで、否が応でも期待が高まる。

一方このままで、東京オリンピックを無事迎える事ができるのかと少々不安になることもある。

たとえば、伊調馨選手に対するパワハラが発覚したレスリング協会、オリンピック種目ではないが、悪質なタックル問題の責任の取り方で大混乱

の日大アメフト部および日本大学。これに次いで、日本ボクシング連盟の山根明会長の異常な組織体制。

アマチュアスポーツ界におけるパワハラと独裁的な体制が次々と暴かれる。これ以上あってほしくないと思っていたところに女子体操の宮原選手の告発だ。

長く、権力の座についていると、次第に盤石な体制ができ上がる。気が付けば誰も逆らえないという構図に陥りがちだ。さらに、厄介で難しいのは、反社会的な団体の影がチラついたりする場合だ。

こうした理不尽な体制に異を唱える若い勇気ある選手が次々と、メディアに登場し世間に訴えることで、様々な歪んだ組織体制が明らかにしている。頼もしい限りだ。

この際である、黙っては何も変わらない。全ての膿を出し切り、すっきりとした体制で2020年の東京オリンピックに臨み、多くの金メダルを獲得したいものだ。(ひとり言)